

2023年12月

ご施設様 各位

新規・中止項目および報告様式変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始および受託中止させていただくこととなりましたので、ご案内いたします。また、今回の新規項目受託開始に伴う報告様式の変更も、あわせてご案内申し上げます。

何卒ご利用いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 新規受託項目および実施日

2024年4月1日（月）ご依頼分、検査実施分より

項目コード	9726	9727
検査項目名	遅発育菌感受性[MIC]	迅速発育菌感受性[MIC]
検体量	迅速発育菌を除く非結核性抗酸菌の菌株 生材料：喀痰 1～5mL、気管支洗浄液、 胃液など 2～10mL	迅速発育抗酸菌の菌株 生材料：喀痰 1～5mL、気管支洗浄液、 胃液など 2～10mL
容器	菌株：抗酸菌用培地（液体および固形培地）※1 生材料：㊶滅菌喀痰採取容器、㊷滅菌スクリュースピッツ	
保存方法	菌株：室温、生材料：冷蔵	
所要日数	2週～3週 ※2	
検査方法	微量液体希釈法（CLSI M24 3rd ed.準拠）	
基準値	なし	
検査実施料	400点（「D022」抗酸菌薬剤感受性検査）	
判断料	150点（微生物学的検査判断料）	
備考	※1：菌株は雑菌が発育していないことをご確認の上ご提出ください。 ※2：所要日数は分離培養、増菌培養などにかかる日数を含んでおりません。	

株式会社ミロクメディカルラボラトリー

URL： <http://miroku-lab.co.jp>

（長野ラボ）〒384-2201 長野県佐久市印内 659 番地 2 （埼玉ラボ）〒350-0809 埼玉県川越市大字鯨井新田 20 番 1
TEL.0267-54-2111（代表） TEL.049-299-5858

【ご依頼に際しての留意事項】

- ◆ 結核菌は検査できませんのでご注意ください。
- ◆ 遅発育菌感受性[MIC]の検査対象菌種は非結核性抗酸菌の遅発育菌です。
- ◆ 迅速発育菌感受性[MIC]の検査対象菌種は非結核性抗酸菌の迅速発育菌です。
- ◆ 菌種名が同定済みの菌株をご提出の場合は、菌種名を依頼書のコメント欄にご記入ください。
- ◆ 菌種名が同定されていない菌株をご提出の場合は、必ず同定検査項目も同時にご依頼ください。菌種名が確定した後に感受性検査を実施いたします。同定検査は、抗酸菌同定[質量分析]をお勧めいたします。
- ◆ 生材料でご提出の場合は、必ず分離培養と同定検査項目も同時にご依頼ください。培養陽性となった時点で菌種名が不明な場合は同定検査を行い、菌種名が確定した後に感受性検査を実施いたします。菌株の同定検査は、抗酸菌同定[質量分析]をお勧めいたします。
- ◆ 菌種名が不明の場合は、結果参考値かつ MIC 値のみのご報告となります。

■ 受託中止項目および中止日

2024年3月30日（土）ご依頼分・検査実施分をもって中止

項目コード	検査項目名	備考
5377	抗酸菌感受性[MIC]	測定試薬製造販売中止のため 代替項目：9726 遅発育菌感受性[MIC]
9697	迅速発育菌感受性[MIC]	代替項目：9727 迅速発育菌感受性[MIC]

■ 新規項目と現行項目の比較

◆ 遅発育菌感受性[MIC]

変更内容	新規項目	現行項目（受託中止項目）
項目コード	9726	5377
検査項目名	遅発育菌感受性[MIC]	抗酸菌感受性[MIC]
検査方法	微量液体希釈法 (CLSI M24 3rd ed.準拠)	微量液体希釈法
報告様式	<ul style="list-style-type: none"> • 最小発育阻止濃度（MIC 値、単位：$\mu\text{g}/\text{mL}$）をご報告します。 • CLSI M24S 2nd ed.に判定基準の記載がある薬剤は、判定カテゴリー（S：感性、I：中間、R：耐性）も併せてご報告します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 最小発育阻止濃度（MIC 値、単位：$\mu\text{g}/\text{mL}$）のみをご報告しています。

実施薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ エタンブトール (EB) ・ カナマイシン (KM) ・ アミカシン (AMK) ・ イソニアジド (INH) ・ リファンピシン (RFP) ・ リファブチン (RBT) ・ エチオナミド (TH) ・ クラリスロマイシン (CAM) ・ アジスロマイシン (AZM) ・ ドキシサイクリン (DOXY) ・ ミノサイクリン (MINO) ・ モキシフロキサシン (MFLX) ・ シタフロキサシン (STFX) ・ リネゾリド (LZD) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストレプトマイシン (SM) ・ エタンブトール (EB) ・ カナマイシン (KM) ・ リファンピシン (RFP) ・ リファブチン (RBT) ・ レボフロキサシン (LVFX) ・ クラリスロマイシン (CAM) ・ エチオナミド (TH) ・ アミカシン (AMK)
実施薬剤数	14	9

◆ 迅速発育菌感受性[MIC]

変更内容	新規項目	現行項目 (受託中止項目)
項目コード	9727	9697
検査項目名	迅速発育菌感受性[MIC]	迅速発育菌感受性[MIC]
報告様式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最小発育阻止濃度 (MIC 値、単位：$\mu\text{g}/\text{mL}$) をご報告します。 ・ CLSI M24S 2nd ed.に判定基準の記載がある薬剤は、判定カテゴリー (S：感性、I：中間、R：耐性) も併せてご報告します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最小発育阻止濃度 (MIC 値、単位：$\mu\text{g}/\text{mL}$) のみをご報告しています。
実施薬剤 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファロペネム (FRPM) ・ イミペネム (IPM) ・ メロペネム (MEPM) ・ トブラマイシン (TOB) ・ アミカシン (AMK) ・ クラリスロマイシン (CAM) ・ アジスロマイシン (AZM) ・ ドキシサイクリン (DOXY) ・ ST 合剤 (ST) ・ レボフロキサシン (LVFX) ・ モキシフロキサシン (MFLX) ・ シタフロキサシン (STFX) ・ リネゾリド (LZD) ・ クロファジミン (CLF) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アミカシン (AMK) ・ トブラマイシン (TOB) ・ イミペネム (IPM) ・ ファロペネム (FRPM) ・ レボフロキサシン (LVFX) ・ モキシフロキサシン (MFLX) ・ アジスロマイシン (AZM) ・ クラリスロマイシン (CAM) ・ ST 合剤 (ST) ・ ドキシサイクリン (DOXY) ・ メロペネム (MEPM) ・ リネゾリド (LZD) ・ クロファジミン (CLF) ・ シタフロキサシン (STFX)
報告書	抗酸菌検査結果報告書	特殊検査結果報告書
備考	※1：薬剤の表記順が変更となります。実施薬剤の変更はありません。	

■ 報告様式の変更 : 2024年4月1日(月) ご報告分より

- 判定カテゴリー (S、I、R) 報告の開始 (【別紙】抗酸菌報告書の変更箇所)
- データ報告IFレイアウト変更 ※データ連携のご施設様のみ

◆ 遅発育菌感受性[MIC]

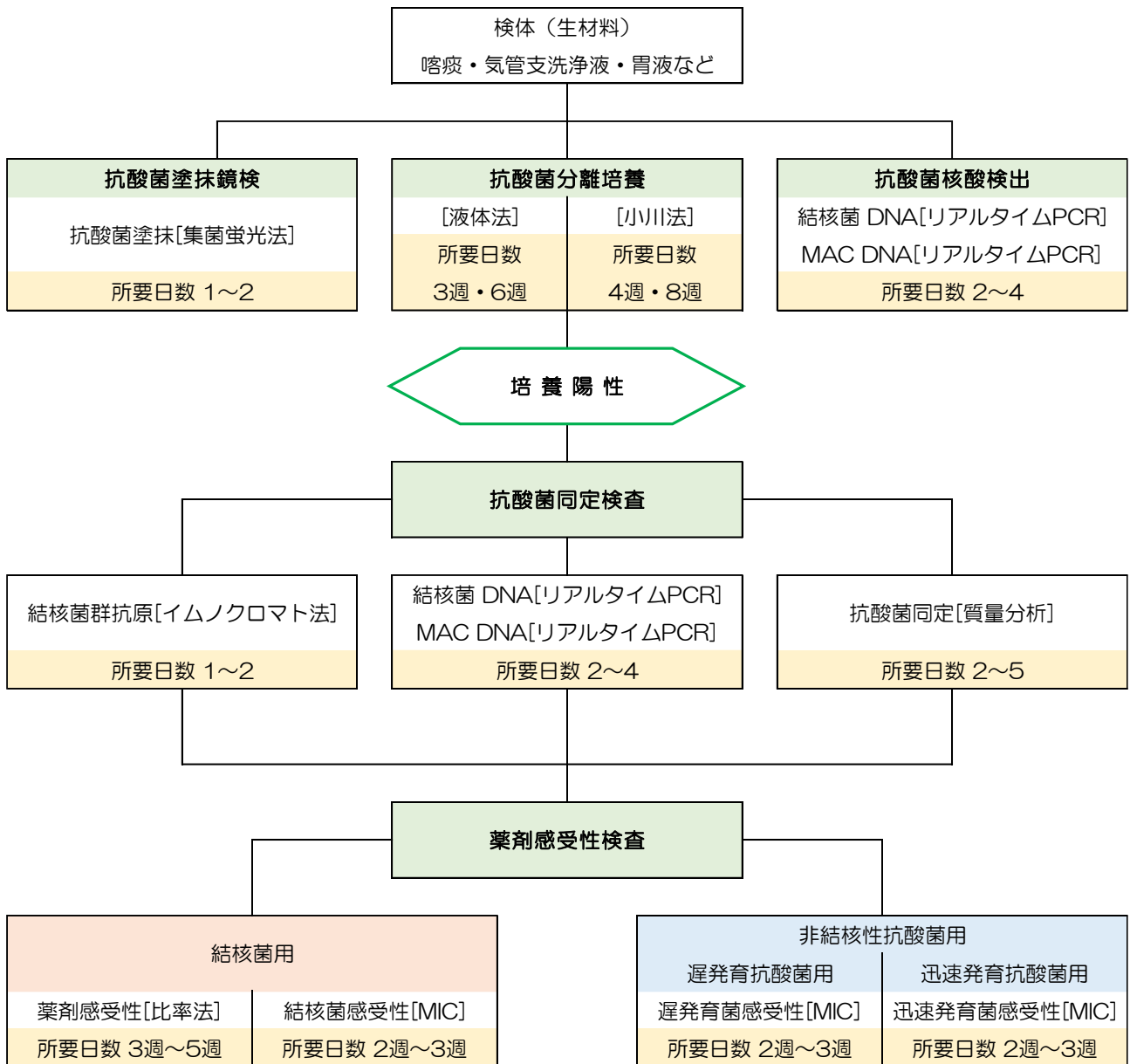
	<i>M. avium</i> および <i>M. intracellulare</i> (MAC)	MAC 以外
エタンプトール (EB)		
カナマイシン (KM)		
アミカシン (AMK)	●	●
イソニアジド (INH)		
リファンピシン (RFP)		●
リファブチン (RBT)		●
エチオナミド (TH)		
クラリスロマイシン (CAM)	●	●
アジスロマイシン (AZM)		
ドキシサイクリン (DOXY)		●
ミノサイクリン (MINO)		●
モキシフロキサシン (MFLX)	●	●
シタフロキサシン (STFX)		
リネゾリド (LZD)	●	●

◆ 迅速発育菌感受性[MIC]

	迅速発育抗酸菌
・ ファロペネム (FRPM)	
・ イミペネム (IPM)	●
・ メロペネム (MEPM)	●
・ トブラマイシン (TOB)	●
・ アミカシン (AMK)	●
・ クラリスロマイシン (CAM)	●
・ アジスロマイシン (AZM)	
・ ドキシサイクリン (DOXY)	●
・ ST合剤 (ST)	●
・ レボフロキサシン (LVFX)	●
・ モキシフロキサシン (MFLX)	●
・ シタフロキサシン (STFX)	
・ リネゾリド (LZD)	●
・ クロファジミン (CLF)	

- : 最小発育阻止濃度 (MIC 値、単位 : $\mu\text{g}/\text{mL}$) および判定カテゴリー (S : 感性、I : 中間、R : 耐性) をご報告します。
(表中に●のない薬剤は、MIC 値のみをご報告します。)

◆ 抗酸菌検査フローチャート



- ◆ 所要日数は菌株の増菌などにかかる日数を含んでおりません。
- ◆ 薬剤感受性検査を行う場合、以下のいずれかが必要です。
 - 結核菌群抗原[イムノクロマト法]、結核菌 DNA[リアルタイムPCR法]、MAC DNA [リアルタイムPCR法] いずれかの結果が陽性である。
 - 抗酸菌同定[質量分析]で菌種名が同定されている。
- ◆ 結核菌感受性[MIC]で非結核性抗酸菌の感受性検査は実施できません。
- ◆ 遅発育菌感受性[MIC]および迅速発育菌感受性[MIC]で結核菌の感受性検査は実施できません。
- ◆ 菌種名が不明の菌株で遅発育菌感受性[MIC]または迅速発育菌感受性[MIC]を実施した場合は、結果参考値かつMIC値のみのご報告となります。